

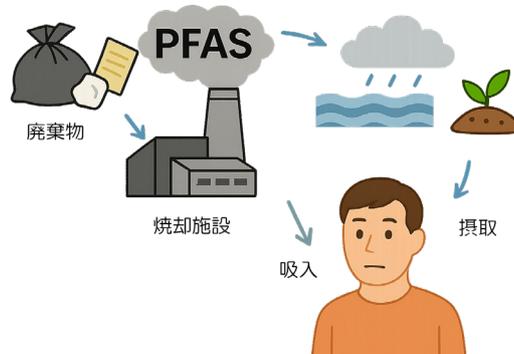


排ガス中PFAS測定

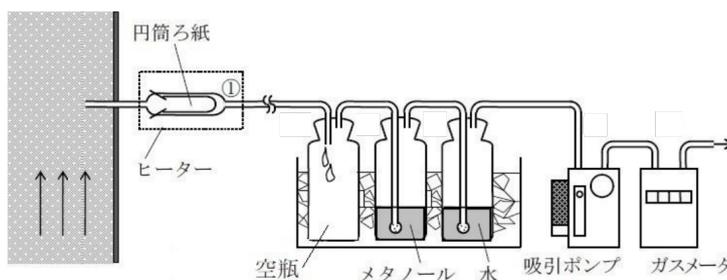
排ガス中のPFAS分析を通じ、PFAS動態把握をサポートいたします。

排ガス中のPFAS測定の必要性

PFAS(有機フッ素化合物)は、極めて安定した化学構造を持ち、自然環境中で分解されにくい物質です。そのため、廃棄物にPFASが含まれている場合、焼却処理を行っても条件によっては完全に分解されず、排ガス中に残留する可能性があります。残留PFASが大気中に放出されると、周辺の水域や土壌に移行し、人の健康や生態系に長期的な影響を与えるリスクとなります。国際的な規制強化や国内法令の整備が進む中、企業には法令遵守だけでなく、社会的責任(CSR)として環境安全性を科学的に証明することが求められています。



排ガスサンプリング要領

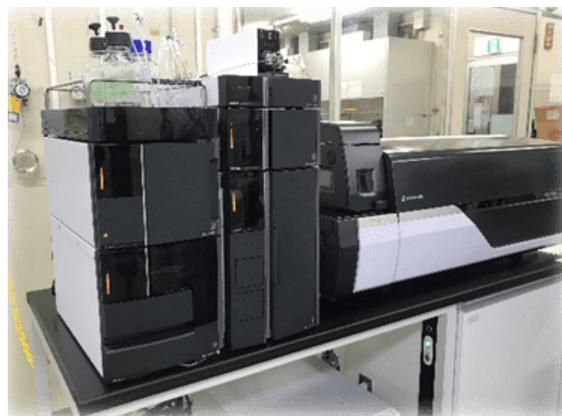


「PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」(環境省)
(<https://www.env.go.jp/content/000077696.pdf>)を加工して作成

当社のサービス

- 環境省ガイドライン準拠の分析方法
「PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」
- LC-MSMSによる高感度測定
- 定量下限: 1ng/m³N(目安)
- PFOS、PFOAをはじめとした各種PFAS類を測定
- PFAS以外も同時測定
ダイオキシン類、ばい煙、排ガス温度、フッ素化合物等
- 作業環境測定も実施
- 全国各地のあらゆる工場で測定
- 測定成分に合わせたプローブや治具の作製

※ PFAS以外の各種有機分析もご相談ください。



分析装置



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2026 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

